

# 光市医師会報

平成14年4～6月号

No. 351



丹頂鶴の親子 北海道 高橋建次撮影

光市医師会

## エッセー

子供のいる皮膚科医—毛虫事件—

ひかり皮膚科クリニック 村田 雅子



皮膚科ならずとも、この季節は毛虫に刺された患者さんを診ることでしょう。チャドクガの被害が一番多く、これらは、年2回5・6月と8・9月に出現し、椿・サザンカなどの葉を食べます。背中黒い部分に毒針毛という微細な有毒毛が約30万本も密生しています。実際に触ってもいないのに、皮膚に付着するのは、葉を揺らすと、小鳥がついばみに来たかと、毛を飛ばし、飛んだ毛が小鳥の口の中を刺してちくちくして、毛虫を食べるのをやめるからだそうです。それで、天気が悪い時も、風が吹くときも、小鳥が来たのかしらと思い、毛を飛ばして、周囲の人間の皮膚に刺さるので、毛虫には毛虫の営みがあり、別に意地悪で刺しているのではないのです。ちなみに、「刺された直後なら、セロハンテープを用いて、皮膚に付着した毒針毛を除去し、石鹸でよく洗えば、皮膚炎を最小限に抑える事ができる。」と成書にかかれており、このやり方で私は家族を守ってきました。

ところがある日…。

下の子(5歳)が夕方保育園から帰ってきた途端、すごい悲鳴!家に入って気が付くと、体中に10数匹の毛虫が付いていたそうです。お手伝いさんが必死ではらいのけたものの、娘はパニックになり、地団太踏んで、「毛虫、毛虫」と叫びたて、その騒ぎはドア越しに診察室までも響いてきました。

しかし、時間は丁度、夕方5時過ぎで、病院もお勤め帰りの患者さんでたて込んでいます。娘はとうとう待ちきれなくて、服をぬがしてもらい、待合室に駆け込んできましたが、こちらは声をかけることができません。ようやく、6時終業となり、怖いよーと抱きついてきた娘を押し倒して、パンツまで剥ぎ取り、その上に馬乗りになり、鬼のように、体中ガムテープを貼って、毛虫の毛を取りました。騒ぎを聞いて駆けつけた主人が、「おまえ、セロハンテープでとるんじゃないのか?」と心配そうに声を掛けます。その声を無視して、倉庫に走り、荷造り用のもっと丈夫なガムテープまで持ってきて引っ張りました。小さい子供の肌はそれだけですこし内出血しました。それを見て、はっと、これは虐待しているように見えるかもしれないと思い、看護婦さんの目を逃れる為、自宅の奥まで引っ込みました。その後、アイスノンで冷やし、ステロイド外用剤を塗りたぐり、サランラップを貼って密閉療法までしました。ところが、抱きつかれた私の首もチクチクしてきて、そうだ、頭にも有毒毛がついている事で、せっかくのサランラップを剥ぎ取り、慌ててシャワーをかけましたが、シャワーで体が暖まって、また痒くなって泣き叫び始めました。

ここで失敗したのは、子供にシャワーを

かけるために白衣を脱いでしまった事でした。密閉療法が終わるまでは白衣を着ていたので、医者として冷静さがかろうじて残っていました。医者ならば、目の前でどんなに患者が泣き叫んでも、一緒に騒ぎ立てる事はありません。しかし母親となれば話は別です。母親というものは子供が逆上すれば、自分も逆上するもの（少なくとも私は）。私のほうがもっとうるさく、「シャワーで暖まっただけじゃけー冷やしやーだいじょうぶっちゃー！」と叫んで鬼のようにアイスノンを押し当てるので、お姉ちゃんが「おかあさん、そんなにひどくせんこと」と押しとどめる一幕もありました。その夜は、娘はうなされて、夜中に何度も毛虫が毛虫がといて、寝ぼけて起きたりしました。

眠るときには赤みは無かったので、ああ、さすがにガムテープで引っこ抜いただけ事はある、と思ったのですが、朝になってびっくり。毛虫が止まっていたおなかは一面真っ赤で、昨日は余りガムテープを貼らなかつた背中も累々と赤い丘疹が出ています。昨夜はリンデロンシロップを飲ませたせいか、余り痒くないらしく、本人は上機嫌で鏡に写してみています。寝ぼけ眼で2階から降りてきたお姉ちゃんに、「ほら」とお腹を見せるとお姉ちゃんのびっくりした事、一瞬飛びさがったので、こちらは台所ではっとして、ここで母親が騒ぐと子供もうろたえるし、恥ずかしいと思うかもしれないと慌てて、作り笑いして「まなちゃん、かわいいお腹になったじゃろ？」と言い放ちました。次女は未だ5歳ですから、母親の言い回し一つで洗脳されて、得意そう。しかし、お姉ちゃんはずすがに完全には洗脳されず、台所に、「ひどい病気？」と小さな声

で尋ねにきました。

よく患者さんが、朝起きたときは痒くないんですよとか、朝ご飯食べると痒いんですよとか言いますが、本当に痒くなくて上機嫌だった娘は、朝ご飯の後、痒くなって途端に半ベそになりました。「今日は保育園やすむ？」と聞くと、迷っている様子。「保育園休んでもお母さんはお仕事だから一緒に居れんよ」と言うと、ふっきれて、「イヤ、保育園に行く！」ときっぱり言うので、先生に迷惑をかけないだろうか、心配しつつ、保温弁当箱の中に、アイスノンをいっぱい詰めて、痒くなったら自分で出して冷やしなさい、と言いつつ、かゆみ止めも飲ませて、軟膏も塗りたくって送り出しました。帰ってきて聞けば、2回お弁当箱から出して冷やしたとの事。それで、先生も困らせなかつたらしく、このやり方は良いなあと思いました。3日目の今日は、茶色い点々だけ残っています。

ところが、2日目くらいから、今度は私が体中痒くて痒くて。娘が抱きついた時、頭に付いていた毛が私の首を一面に刺し、ガムテープを貼ろうと組み敷いたとき、太ももやお尻も刺されたのです。しかも、自分は大人だからと過信して、何も塗らなかつたので、ひどい丘疹になっています。

今回の事件での考察。皮膚科医として判断すると、有毒毛が刺さった直後に除去すれば、もっと反応は抑えられたのではないかと思います。ガムテープで除去するまでに1時間くらいのロスタイムがあったためか、逆上した本人が撫で回して、有毒毛を体内に押し込めたために、反応を抑えきれなかつたと思われます。母親としては、そんな事はどうでも良くて、娘があんなに

叫んで、ないで、うなされたのも初めて見たし、毛虫の存在がトラウマになってしまうのではなかろうかと心配でしたが、全く意に介さず、逢う人ごとにぶつぶつしたお腹を見せて歩いています。

ちなみに、医者としても、母親としても、私はもう、草木の近くを歩くのもイヤになってしまいました。

#### 平成14年4月光市医師会定例理事会

日時：平成14年4月9日（火）19：00～

場所：医師会事務局

議題：

##### I 報告事項

- ①光市学校保険会理事会の報告（3/14）  
（前田会長）
- ②平成13年度光市社会福祉協議会の報告（3/28）  
（前田会長）
- ③周東地区地域産業保険委員会の報告（3/14）  
（光武理事）
- ④その他

##### II 協議・承認事項

- ①平成14年度光市医師会事業計画と予算編成  
（藤原理事・全理事）
- ②医師出務料（休日診療所）  
（藤原理事・光武理事）
- ③4月度月例会と学術講演会  
（前田会長・山本理事）
- ④基本検診・人間ドック検査項目の検討  
（河村理事）
- ⑤その他
  - イ. 医師会役員の表彰
  - ロ. 学校医
  - ハ. 介護認定審査員

## I-①

平成 13 年度光市学校保健理事会

(前田会長)

日時：平成 14 年 3 月 14 日 (木) 13:30~

場所：光市教育委員会会議室

議題：

①平成 13 年度事業報告及び決算報告について

i. よい歯のコンクール

日時：H13. 6. 7 (木)

場所：勤労者総合福祉センター・光商工会館

ii. 学校保健総会

日時：H13. 6. 28 (木)

場所：あいば一く光 (いきいきホール)

・研修会

講話 バランスの取れた食事と心身の発育について (子供の肥満とアトピー性皮膚炎を始めとしたアレルギーについて)

講師 光中央病院 山手智夫 先生

iii. 第 47 回中国地区学校保健研究協議大会

日時：H13. 8. 2 (水)

場所：鳥取

iv. 光市児童生徒定期健康診断新体力テスト統計資料作成

日時：H13. 8. 3 (木)

v. やまぐち 8020 歯の健康フェア

日時：H13. 11. 11 (日)

場所：美祿市

平成 13 年度学校歯科保険優良校 室積中、島田中

歯の健康優良児生徒作品表彰

「標語」浅江中 文本勝也 (佳作)

vi. 養護部会研修視察

日時：H13. 11. 20

場所：県立周南養護学校

vii. 第 34 回学校保健研究大会

日時：H14. 1. 17 (木)

場所：山口市

viii. 学校保健理事会 教育委員会

日時：H14. 3. 14 (木)

場所：教育委員会 会議室 (2F)

ix. 健康・安全活動状況調査実施

②平成 14 年度事業計画 (案) 及び決算報告 (案) について

③平成 14 年度総会について

日時：6 月 20 日 (木) 13:30~

場所：あいば一く光

講演内容：結核健診に関する講話 (60 分)

④その他

見学旅行

## II-②

(藤原、光武理事)

医師出務料 (休日診療所)

・平成 14 年より、1000 円値上げ。

・給与所得とする。

## II-⑤

イ、医師会役員の表彰

・吉村先生が該当する。

ロ、学校医

・光井中の校医が、富恵先生より広田先生にかわる。

ハ、介護認定審査員

・富恵先生が、止められる。後任の人選が、必要だが、講習を受けた者がいない。

## 平成14年4月度光市医師会月例会

日時：平成14年4月23日  
場所：光市商工会館2階大会議室

## I. 学術講演会

## 特別講演

「アトピー性皮膚炎の治療」

講師 NTT東日本関東病院皮膚科  
部長 五十嵐 敦之先生

## II. 月例会

- ①医師出務料の税務上の取り扱いについて (藤原理事)
- ②会報委員会設立について (兼清理事)
- ③肝炎ウィルス検診等実施要領の一部変更について (河村理事)

## 特別講演

「アトピー性皮膚炎の治療」

講師：NTT東日本関東病院皮膚科  
部長 五十嵐 敦之先生



アトピー性皮膚炎の治療を聞いて

(藤原理事)

講師はNTT東日本関東病院皮膚科部長の五十嵐 敦之先生であった。生涯教育担当の山本先生の尽力により遠路五十嵐先生という立派な講師の講演を聞いたことは我々医師会員にとって幸福なことであった。

徳山、熊毛等他地域の先生方の顔も散見された。講師の五十嵐先生は1984年東京大学医学部医学科を卒業し、東京大学皮膚科教室に入局された。米国フロリダ大学に留学後、東大分院講師を経て、NTT東日本関東病院皮膚科部長として数人の皮膚科医師と共に働いておられる。又同院副院長原田昭太郎先生は、日本皮膚科学会会長として臨床重視の立場を貫いておられることも、若い五十嵐先生は多大な影響を受けておられるものと思ひながら拝聴した。

さてアトピー性皮膚炎治療ガイドラインが日本皮膚科学会から2000年に発表された。とかく悪者とされてきたステロイド外用剤が何となく日の目をみた様な気がしたのを覚えているが、このガイドラインに添う形で、まず診断ついで重症度の評価・原因・

## 平成14年5月光市医師会定例理事会

悪化因子検索と対策・スキンケア（異常な皮膚機能の補正）・さいごに薬物療法が話された。治療の中心はステロイド外用の使い方であり、強弱と皮疹の部位、性状、ステロイド外用の副作用などスライドを使って示された。

加えて抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬の使い方、タクロリムス軟膏の使い方を教えていただいた。アトピー皮膚炎に特別な治療があるわけではなく、堂々と正道を行く話振りに感心し聞かせていただいた。講演後に、会員の質問の多さもアトピー皮膚炎に対する会員の関心の高さをしめしたものと見えようが、丁寧にご答えておられた。先生の健康と益々の御活躍を祈りたい。

日時：平成14年5月8日（水）19：30～  
場所：医師会事務局

## 議題：

## I 報告事項

- ①第143回定例代議員会（4/25）の報告  
（前田会長）

- ②その他

## II 協議・承認事項

- ①平成14年度総会議案書について  
（全員）
- ②平成13年度決算書、平成14年度予算書、  
（藤原理事）
- ③懇親会について  
（梅田理事）

- ④その他

県東部緩和ケア研究会、他関連事項  
（山本理事）

## I-①

## 143 回山口県医師会定例代議員会の報告

(前田会長)

日時：平成 14 年 4 月 25 日 (木) 15:00～

場所：県医大会議室

要旨：二期目を迎えられた藤井会長は挨拶の中で次の点を強調された。4 月の診療報酬マイナス改定のもたらしたものの。それに関する日医執行部の対応の不透明さに全国の日医代議員から多くの批判の声があがった事、又、日医の 15 年再改定を目指す意気込み、それにはマイナス改定による医療費動向の調査収集への会員の協力の必要性などが述べられた。又、内閣府の経済財政諮問会議や総合規制改革会議が打ち出している医療費抑制策や株式会社の医療参入や保険者機能の強化、保険者と医療機関の個別契約など今後の問題点を指摘された。又、県下郡市医で要望の出ている予防接種の広域化について 15 年実施を目指し努力するお考えが示された。

I) 提出議案は以下のとおり、全員の賛成の下に全て承認議決された。

報告事項：第 1 号—日本医師会代議員会の  
状況報告

第 2 号—理事会の会務分担 (別  
紙参照)

承認事項：第 1 号—顧問の委嘱について

第 2 号—平成 13 年山口県医師会  
事業報告について

議決事項：第 1 号—平成 14 年度山口県医師  
会事業報告について

第 2 号—平成 14 年度山口県医師  
会事業計画について

第 3 号—平成 14 年度山口県医師会  
予算について

第 4 号—平成 14 年度山口県医師会  
会費賦課徴収について  
(例年どおり)

第 5 号—一代議員会議決権限の委任  
について

## II) 郡市医師会からの通告質問

全部で 8 件、内 7 件は診療報酬改定に関するものであり、1 件は郡市医師会の再編合併を検討実施すべき時機到来との見解が提出された。

今回の診療報酬改定に関するものでは、改定の経緯その結果、その影響など憤満やる方なしの意見が続出した。県医からその経過説明と今後日医の再改定要求に向けての意欲と、そのために必要なレセプト調査への協力などが伝えられた。ここでタイミングよく、中村議員より 4 月診療報酬改定に対する抗議文の提出動議が出され、全員一致で採択された。県選出の国会議員に向けて以下の抗議文が承認された。(別紙参照)



## 抗 議

今回の診療報酬改定は、単に2.7%の減額改定にとどまらず、これをはるかに越える影響を及ぼすことは確実である。これは医療そのものを理解せず、医療現場を無視し、単に財政的観点からのみ点数操作を行った結果であり、まさに暴挙といえる。

また、保険給付は抑制され、患者は負担増により、医療を必要とする人々の受診も抑制される。これらを総合的にみて、医療の質低下は避けられず山口県での地域医療は崩壊へと進む。

県民の健康と命を守る立場にある私共医師会員は、今までもそれぞれの地域で地域医療を懸命に守り、これを堅持してきたところである。その立場からこのような状況を傍観することは出来ず、ここにあえて今回の診療報酬改悪に対し嚴重に抗議する。

平成14年4月25日

山口県医師会代議員会

平成14年度光市医師会定時総会

日時：平成14年5月16日（木）

場所：ホテル松原屋



## 平成14年度光市医師会会務分担表

会 長	前田昇一	監 事	高橋建次
副会長	松村寿太郎	議 長	近藤龍一
理 事	梅田 馨	副議長	田中信彦
理 事	藤原邦彦	裁定委員	竹中昭二
理 事	光武達夫	裁定委員	福本寿雄
理 事	河村康明	裁定委員	中村国雄
理 事	兼清照久	裁定委員	中村琢美
理 事	山本憲男	裁定委員	吉村明人
理 事	佃 邦夫	事務局	河崎要助
監 事	丸岩 巖	事務局	中尾圭子

業務区分	担当理事	担当補佐
総務	前田昇一	松村寿太郎
庶務・会計	藤原邦彦	松村寿太郎
広報	兼清照久	道上文和、平岡 博、山本憲男、河村康明、高橋秀児
医療情報システム	佃 邦夫	山本憲男、兼清照久、横山 宏
生涯教育	山本憲男	田村健司、廣田 修、平岡 博
保険	松村寿太郎	佃 邦夫、光武達夫
労災・自賠責	光武達夫	兼清照久
医事紛争 (含麻薬、診療情報)	藤原邦彦	道上文和
地域医療計画(含救急)	光武達夫	丸岩昌文
介護保険	河村康明	矢富克介、佃 邦夫
成人高齢者保険	松村寿太郎	丸岩昌文、河村康明
妊産婦・乳幼児保険	梅田 馨	大月恭範
学校保険	河村康明	横山 宏、山手智夫
産業保険	光武達夫	平岡 博
会員福祉	梅田 馨	守友康則、田村健司、廣田 修
医業経営(労務・税制)	河村康明	道上文和
治験	山本憲男	高橋秀児
医療廃棄物	佃 邦夫	清水敏昭
納税貯蓄組合	藤原邦彦	清水敏昭

<会報委員会>兼清、佃、前田、河村、山本、平岡、高橋(秀)、道上、横山

平成 1 4 年 度

光市医師会定時総会

議 事 録

平成 1 4 年 5 月 1 6 日 (木)

午 後 4 時 3 0 分 よ り

於 ホテル松原屋

光 市 医 師 会

- |                          |        |       |
|--------------------------|--------|-------|
| 1. 開会のことば                |        | (藤原)  |
| 2. 会長挨拶                  |        | (前田)  |
| 3. 議長挨拶                  |        | (近藤)  |
| 4. 総会成立宣言                |        | ( " ) |
| 5. 議事録署名委員指名             |        | ( " ) |
| 6. 議題                    |        |       |
| 第1号議案 平成13年度 事業報告        | (承認事項) | (前田)  |
| 第2号議案 " 会計報告             | ( " )  | (藤原)  |
| 付 基金会計報告                 | ( " )  | ( " ) |
| 付 医師連盟供与金会計報告            | ( " )  | ( " ) |
| 付 胃癌検診読影委員会会計報告          | ( " )  | ( " ) |
| 付 特別会計会計報告               | ( " )  | ( " ) |
| 第3号議案 平成13年度納税貯蓄組合収支報告   | ( " )  | ( " ) |
| 第4号議案 平成13年度労働保険事務組合会計報告 | ( " )  | ( " ) |
| 第2～第4号議案の会計監査結果報告        | ( " )  | (監事)  |
| 第5号議案 平成14年度事業計画(案)      | (議決事項) | (前田)  |
| 第6号議案 平成14年度収支予算(案)      | ( " )  | (藤原)  |
| 第7号議案 総会議決権限の委任の件        | ( " )  | (前田)  |
| 7. 閉会のことば                |        | (藤原)  |

出席者：24名

福本、河内山(清)、丸岩(巖)、近藤、田村(健)、平岡、廣田、市川、前田、吉村、中村、丸岩(昌)、藤村、藤原、高橋(建)、佃、兼清、清水、村田、梅田、山本、河村、田中、光武、

委任状提出者：35名

松村、田村(勝)、竹中(昭)、道上、山手、矢富、守友(雅)、守友(康)、高橋(秀)、大月、伊藤、山内、松岡、深野、濃川、五嶋、米沢、畑尾、横山、多田、野田、海永、高野、冬野、生田、藤山、白石(慶)、小野、竹中(智)、木村、斎藤、泉原、原田、河村、白石(裕)

## 議 事 録

藤原理事：

それでは定刻になりましたので、平成14年度の光市医師会定時総会を開催いたしたいと思います。最初に前田会長のご挨拶をお願い致します。

前田会長：

皆さん今日は、ご多用の中わざわざお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日の提出議案は、第1号議案から第7号議案までの7議案でございます。どうぞ慎重審議の上、ご承認下さいますようお願いいたします。

さて、今年の4月の診療報酬のマイナス改訂の及ぼす影響については、皆様方予想以上の改悪を痛感されておられるとおりでございます。改訂への経緯とか日医のその対応への不透明さ、こういった問題に関して全国会員の方から不満が、日医会長選挙にその批判票として噴出したことは、まだ目新しいところでございます。

改訂の内容たるや、例えば、再診料月内通減制、手術施設基準要件の問題、処方料の減額、長期入院患者の給付範囲の問題など我々医療現場の常識では考えられないものが非常に多く、早急に再改訂への要望の声があがっております。日医も15年再改訂に向かって全力を尽くすと言っているようです。そのためには、レセプトの実態調査、集計が必要でアンケート調査など皆様方への協力要請がポツポツ来るかと思えます。

また、トップダウン方式を取っております小泉内閣の医療構造改革で、今後目の離せないものが、内閣府の経済財政諮問会議、総合規制改革会議の動向でございまして、株式会社の医療参入、あるいは保険者と医療機関との個別的な契約等、市場競争原理の導入や保険者機能の強化が指摘されております。医療現場の声が届かないところで事が決まり、今までの医政活動の見直しも問われているところでございます。

今後、日医や県医からの医政関連情報を十分に収集し迅速に対応を必要とするときがあらうかと思えます。その時は、どうか先生方のご協力を切にお願いいたしたいところでございます。どうぞよろしくその節はお願い致します。

最後になりましたが、昨年4月開所しました光市休日診療所や、徳山・下松・光が協力をして、小児の夜間救急体制づくり、それから介護保険関連事業には皆様方の絶大なご協力で、どうぞやら順調に実行されている様です。お礼と今後一層のご協力をお願い致します挨拶にかえさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願い致します。

藤原理事：

それでは、次は近藤議長ご挨拶お願い致します。

近藤議長：

どうも、皆様ご苦労様でございます。只今出席人員20名、委任状の提出35名、合計55名でございますので本総会は成立致しました。

それでは議事録署名委員といたしまして、清水先生と村田先生にお願い致したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

それではご案内のとおり只今から議事に入りたくと存じます。

1号議案から4号議案まで関連いたしますので一括して審議をいたしまして、その後質疑採決に移りたいと存じます。

それではまず1号議案の説明からお願い致します。

前田会長：

座ってご説明させていただきます。

第1号議案 平成13年度事業報告

1. 光市医師会員 会員総数63名 (A会員30名、B会員32名、C会員1名)
2. 理事会《定例理事会12回》
3. 月例会《定例月例会12回、総会、忘年会等含む》
4. 成人高齢者保健・妊産婦乳幼児保健・地域医療
5. 光市立病院検査部利用状況
6. 光市児童・生徒の心臓集団検診 (A方式)
7. 学校職員健康診断 (平成13年6月実施)
8. 医療廃棄物集配事業
9. 学術、研修会、その他の医師会事業
10. 光市医師会報
11. 介護保険要介護認定事業 (継続)
12. 産業保健契約更新 (継続)
13. 光市医師会労働保険事務組合事業 (継続)
14. 光市医師会納税組合事業 (継続)

藤原理事：

第2号議案 平成13年度会計報告

第3号議案 平成13年度納税組合収支報告

第4号議案 平成13年度労働保険事務組合会計報告

近藤議長：

第1号議案から第4号議案の会計監査報告をお願い致します。

丸岩巖監事：

先週の10日に高橋建次監事さんと一緒に会計監査を行いました。担当者が大変熱心にやっておられまして何ら問題の無かったことを報告致します。

近藤議長：

どうもありがとうございました。

それでは1号議案から4号議案まとめてご質問を受け付けたいと思います。何かご質問がございましたらお願い致します。

佃理事：

14頁の特別会計ですけれども、地域医療情報化推進事業448,000円の件ですが、これまでに1回でも活用されたことがあるのでしょうか。こんな多額の予算をこんな形で使われてもよろしいのでしょうか。返答は結構です。一応意見だけ申し上げておきます。

近藤議長：

佃先生、今度ご担当になられるそうですので是非、がんばっていただきたいと存じます。他にございませんでしょうか。

別に無いようでしたら、採決に入りたいと思います。

1号議案から4号議案までについて承認をされる方の挙手をお願い致します。

一同賛成

挙手全員と認めます。それでは5号議案から7号議案までは田中副議長と交代します。

田中副議長：

5号議案から7号議案までを一括上程いたしたいと存じます。5号議案からご説明をお願い致します。

前田会長：

第5号議案 平成14年度事業計画(案)

各理事が、それぞれ読み上げご説明いたします。

山本理事：

1. 生涯教育について



前田会長：

2. 保険について

河村理事

3. 医業経営について

佃理事：

4. 医療廃棄物について

光武理事：

5. 地域医療・救急医療について
6. 産業保健関係について
7. 労災・自賠責関係について

河村理事：

8. 学校保健について
9. 介護保険について

前田会長：

10. 成人・高齢者保健について

梅田理事：

11. 妊産婦・乳幼児保健について
12. 会員福祉について

兼清理事：

13. 広報（会報）について

佃理事：

14. 医療情報システムについて

藤原理事：

15. 医事紛争関連について
16. 納税組合について
17. 会計について

藤原理事：

第6号議案 平成14年度収支予算（案）

読み上げ

前田会長：

第7号議案 平成14年度総会決議権限の委任の件

田中副議長：

以上、5号から7号までの質疑がございましたらお願いいたします。何かご質問  
ございませんか。

近藤議長：

29頁の会務分担ですが、治験という項目がありますが、これは一体何ですか。

山本理事：

山口県下で、大学などで新しい薬の治験が行われた際に患者さんの「説明と同意」  
を徹底させるために開業医の先生方にも協力していただくために、情報を交換するな  
どの委員会を開いておりますが、まだ1回目の会議が持たれておりません。

田中副議長：

他にございませんか。

無いようでしたら決を採りたいと思います。賛成の方は挙手をお願いします。

一同賛成

どうもありがとうございました。

藤原理事：

長い間ご審議お疲れ様でした。これを持ちまして、平成14年度光市医師会定時総  
会を閉じたいと思います。

上記の通り相違ありません。

平成 14 年 5 月 16 日

議長

議事録署名委員 清水 敏 昭

議事録署名委員 村 田 雅 子

議事録作成 兼 清 照 久

## 平成14年6月光市医師会定例理事会

日時：平成14年6月11日（火）19：30～

場所：光医師会事務局

議題：

## I. 報告事項

- ① 都市保険担当理事協議会（5月23日）  
（佃理事）
- ② 都市医師会長会議、互助会支部長会議、  
医師連盟執行委員会、山福株主総会  
（5月30日）（藤原理事）
- ③ 山口県僻地医療支援計画策定会議  
（5月10日）（前田会長）
- ④ 徳山地域健康危機管理対策連絡会議  
（5月29日）（前田会長）

## II. 協議承認事項

- ① 定時総会会計報告（梅田理事）
- ② 6月度月例会と学術講演会  
（山本理事、前田会長）
- ③ 納涼懇親会（日程）  
（梅田理事）
- ④ 1回会報委員会報告承認事項
- ⑤ 会報とホームページ  
（兼清理事、佃理事）

## I-①

都市保健担当理事協議会

（佃理事）

日時：平成14年5月23日15：00～

場所：山口県医師会館 6階会議室

- 1) 会長挨拶 山口県医師会長 藤井康宏  
今回の診療報酬減額改正について、緊急レセプト調査を行い、データを集積して、是正に努力したい。今後も情報収集にご協力いただきたい。
- 2) 社保国保審査委員連絡委員会の報告  
とき 1月24日（木）理事 佐々木美典  
都市医師会正副会長会議の報告  
とき 2月14日（木）理事 佐々木美典
- 3) 第2回保険委員会の報告 平成13年度  
保険指導の結果 医師国保常任理事木下敬  
介 平成13年度個別指導56件、うち自主  
返還15、監査2、取り消し1。自己診療・  
検診・未実施・再指導・針刺し事故など
- 4) 平成14年度山口県社会保険医療担当者  
指導計画について保険常任理事 山本徹  
集団指導を2年間行い出席率は82.2%、今  
年出席のなかった医療機関は個別指導の対  
象となる。  
1件当りの点数が高い保険医療機関、総数  
の4%程度とする
- 5) 生活保護対象者の療養病棟等に180  
日を越えて入院している患者に対する医療  
扶助の取り扱いについて
- 6) 「低薬価薬剤の審査等の具体的取り扱い  
方針」について 保険常任理事 山本徹  
消化剤、下剤、眠剤、風邪薬の短期投与に

においては原則として病名がなくても払い戻されたい。

#### 7) 保険医療に係わる意見・要望等

主傷病・副傷病がもっとももめた。4月1日の課長通達から医師会側に周知徹底が不十分だったために、猶予期間として7月まで不記載でも払い戻しはないとの、県医師会の返答であった。通所リハ事件に関して、通知が医師会員に行き渡っていなかったのご意見ですが、平成12年9月1日の県医師会報をはじめ、平成13年7月11日・9月1日・11月11日のお知らせにも掲載している。平成13年7月14日の介護保険研修会の時も説明した。担当理事は各会員に周知を徹底してほしい。

#### I-②

郡市医師会長会議、互助会支部長会議、  
医師連盟執行委員会、山福株主総会、  
(藤原理事)

日時：平成14年5月30日

場所：山口医師会館

#### A) 郡市医師会長会議

藤井県医会長より都道府県医師会長会議報告

- ・再診療逓減制、手術料減算を修正要求
- ・神戸市等の医療特区の反対
- ・緊急レセプトチェックの集計
- ・その他(集団的個別指導、主病名・副病名)

#### 1. 中国四国医師会連合総会の報告

- (1) 第一分科会「介護保険」一入所希望待機者の急増、在宅介護への流れを作

る等。

- (2) 第二分科会「医療保険」一市場原理、営利企業の参入の反対等

- (3) 第三分科会「社会保障、地域医療」一ITを利用した直接審査の件、予防接種の広域化の件

#### 2. 中国四国医師会広報担当理事協議会の報告

攻めの広報、双方向性を主眼。メーリングリストの形成。日医と県医、会員との関係を密にする等

#### 3. 医療保険問題関係について一集団的個別指導、集団指導、主病名・副病名など

#### 4. 予防接種広域化の中間報告について、山口県の広域化、県境の問題について

#### 5. 郡市医師会からの意見要望について

- (1) 二号会員(勤務医)の動向について
- (2) 薬価及び長期投与の見直しについて一ゼロ%課税の要求。逆ざや等。
- (3) その他 県医役員選挙の推薦状の扱いについて

#### B) 山口県医師互助会 平成14年度 第1回支部長会

##### 承認事項

第一号 平成13年度山口県医師互助会事業報告

互助会員数1479名 弔慰金贈呈28名  
退職金支払10名

第二号 平成13年度山口県医師互助会決算

#### C) 山口県医師連盟執行委員会

##### 1. 医師連盟役員を選任について

2区の郡市医師会長の互選により選出された委員は岩国市と柳井市医師会長

## 2, 平成13年度決算について

## D) 山福株式会社第26回定時株主総会

株式 8000株 株主総数22名

第一号議案 第26期貸借対照表、損益計算書および利益処分案承認の件

第二号議案 取締役辞任につき選任の件

第三号議案 監査役辞任につき選任の件

第四号議案 役員報酬額の件

第五号議案 退任取締役役に慰労金贈呈の件

第六号議案 事業計画の件

病院（医院）紹介

会員の移動、新会員の紹介

&lt;光市医師会ホームページ&gt;

ホームページがスタートしています。

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/hikarishi/isikaihp/hikari.htm>

皆さんご利用下さい。

## II-④

## 会報委員会

(兼清、佃、前田、山本、河村、平岡、高橋秀)

日時：平成14年6月4日

場所：光市医師会事務局

## 協議事項：

- ①従来の情報などは、光市医師会ホームページに掲載される。会報は、記録を主な役目とする。
- ②3ヶ月に一度の発行とする。
- ③学術講演会のまとめは、内容により、人選し、お願いする。
- ④表紙の写真は、得意な会員より募集する。
- ⑤理事会報告は、抄録の提出をお願いする。
- ⑥Eメールの利用を活発にする。
- ⑦ウィルス対策、ハッカーについて

## 新企画：

趣味、旅行などのエッセー

他科に有用なお話

## 光市学校保健委員会総会の特別講演

日時：平成14年6月20日

場所：あいば一く光

講師：広田医院 広田 修

結核の過去、現在、未来～小児結核を中心に～



結核は有史以前よりヒトの生活と共にあり、ドイツで発見された紀元前7000年頃のヒト胸椎の化石にカリエスが認められ、紀元前3000年頃の初期のミイラにも肺結核の跡が発見されている。集落の規模が小さく交通手段が発達していなかった時代には広がりも限られたものであったが、産業革命以後に人々が大都会に集まり、劣悪な環境で生活するようになってから爆発的流行が起こるようになった。例えば産業革命発祥の地であるロンドンでは18世紀後半が、遅れて産業革命がはじまったドイツでは19世紀半ばに、日本では19世紀後半から20世紀半ばにかけてそれぞれ猛盛期を迎えた(図1)。

結核菌の感染があってもそのまま発病(1次結核)するのは約5%で、それ以外はツベルクリン反応(ツ反)が陽性化するのみで健康である。感染した結核菌はいわゆる冬眠状態となり、そのうち約5%が数十年後に二次結核として目覚めて増殖する。

我が国の結核死亡率(人口10万対)は1918年の257を最高に以後減少していたが、80年代より減少傾向は鈍化し、罹患率は諸外国と比べて現在でも3~5倍と高い(図2)。0~14歳での新規登録結核患者数は1960年の62,325人から1999年には280人へと減少したが、昨今減少は鈍化しており、感染率の低下(年

齢別既感染率：1歳0.05%、2歳0.09%、3歳0.14%、4歳0.19%、5歳0.25%;2000年)に伴って今後患者数の増加が懸念される。

小児の結核は表1に示すような特徴を持つ。性別年齢別では乳幼児と中学生にピークをもつ二峰性分布をとり、5歳以下の乳幼児が54%をしめる(図3)。病型は一次結核の初期肺結核症、成人型の二次結核である慢性肺結核症、および結核性胸膜炎の胸腔内結核症三病型が85%を占めるが、粟粒結核、結核性髄膜炎がそれぞれ7%を占め、他の年齢での1%以下に比べ全身性の重症結核が多い。小児においては初感染に引き続いて発病する一次結核が多いのが特徴で、発病時に接触者検診を行えば74%で感染源を特定でき、そのうち父、母、祖父母等の近親者が63%である。「成人患者のそばに乳幼児結核あり」である。また、結核患者でのBCG接種率は5歳以下の乳幼児では14%、とりわけ0歳では5%と低く(図4)、結核未感染者に対してのBCG接種率の向上が急務であろう。

現在日本では初回BCG接種はツベルクリン反応(ツ反)陰性確認後に行われているが、これは過去には結核感染率が高く、患者発見の目的があったこと、既感染者にBCGを接種すると比較的強い副反応が現れる事があると考えられたことによる。し

しかし、若年者の結核感染率が極端に低下したため初回ツ反時そのほぼ全員がBCG接種対象者の状態であること、既感染者に対してのBCG副反応は未感染者に行うときと比べ大きな差は無いこと、罹患率の低下によってツ反による患者発見の効率が低い（0～3歳の乳幼児約120万人のうち13人、10万対1.1）こと、およびツ反疑陽性などにより3.6%（対象120万人として4万3千人）がBCG未接種となり、そのうち22人が結核に感染すると推計されることなどより、今後は原則として生後6ヶ月までにツ反を省略したBCG直接接種が導入される予定である。しかしツ反の価値が低下したわけではなく、感度、特異度も高い検査であることより接種技術の低下が起こらぬよう、研鑽が必要である。

BCGが結核予防に有効であることは様々な根拠から世界的に受け入れられている。1994年に1200以上の文献より行われたメタアナリシスではBCGは結核性髄膜炎や粟粒結核などの重症結核では高い効果があり、肺結核でも50%発病を予防することが明らかにされた（表2）。また、15年程度効果は持続すると考えられている。

現在小学1年、中学1年でツ反が再施行され、陰性者にBCG再接種が行われている。これは①結核蔓延時は患者発見、②初回接種の効果減弱の補強（有効期間の延長）、③初回接種の洩れ者への対応、の意味合いがあった。しかし乳幼児と同様に罹患率低下による発見率の低下、有効期間延長の根拠が無いことより今後は再接種は廃止になる予定である。ただし、乳幼児の初回BCG接種が洩れなく正確に行われること、感染小児の早期発見対策の強化が必須であり、

再接種廃止に伴って起こりうるBCG初回接種への不信や結核対策への関心の低下が起こらないような配慮が必要であろう。

図1 先進諸国（都市）での17世紀からの結核死亡率

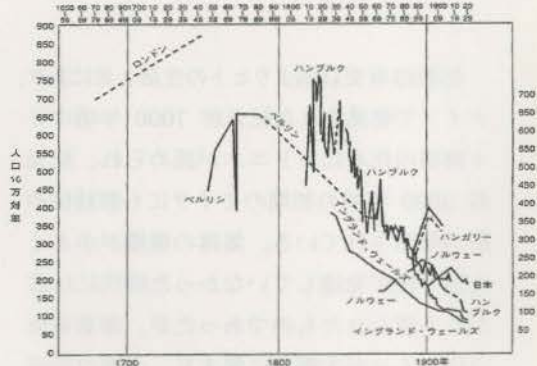


図2 先進諸国の結核罹患率

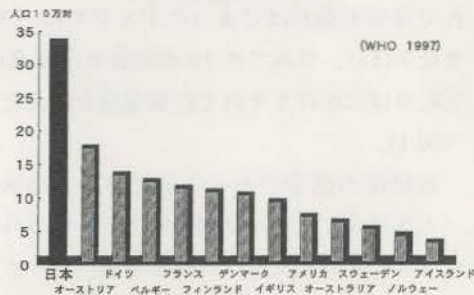




図3 性別年齢分布

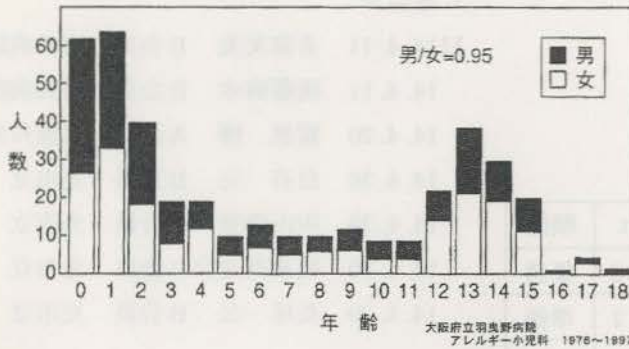


図4 結核患者のBCG接種率

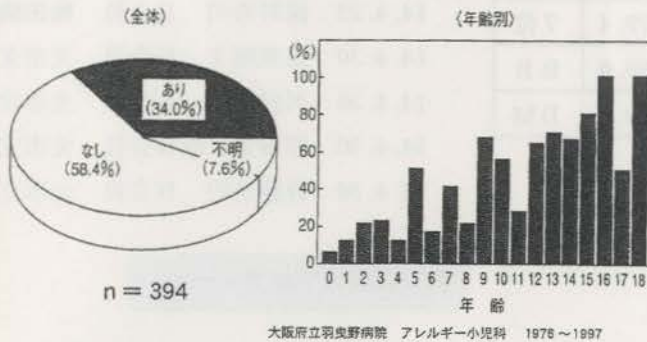


表1 小児結核の特徴

1. 乳幼児結核が多い
2. 発病率が高い
3. 全身に進展拡大しやすい
4. 乳幼児では家族内感染が多い
5. 乳幼児ではBCG未接種が多い
6. 検鏡陽性率、培養陽性率が低い

表2 BCGの結核予防効果

1) 前向き対照試験	
発病予防効果	51%
結核死亡の予防	71%
2) 症例対照研究	
全体効果率	50%
髄膜炎	64%
全身播種性結核	78%
確定診断例	83%
(組織学的 or 結核菌培養陽性)	

## 光医歯会ゴルフコンペ成績

## &lt;遠征ゴルフ&gt;

日時：平成14年4月29日

場所：若木ゴルフクラブ

(嬉野温泉)

氏名	G	HC	Net	順位
平田万三志	96	22.8	73.2	優勝
森本博士	87	10.8	76.2	準優
光武達夫	93	16.8	76.2	3位
守田忠正	94	16.8	77.2	4位
諏訪高志	101	22.8	78.2	5位
藤村朴	86	7.2	78.8	6位
前田昇一	101	21.6	79.4	7位
守友康則	104	24.0	80.0	BB
丸岩昌文	123	33.6	89.4	BM

## &lt;第2回緑友会&gt;

日時：平成14年5月12日

場所：周南カントリークラブ

氏名	G	HC	Net	順位
守友康則	97	22	75	優勝
平田万三志	90	14	76	準優
前田昇一	94	17	77	3位
森本博士	98	9	89	4位
丸岩昌文	127	36	91	5位

## 会員の移動

## &lt;退会&gt;

H14.4.11	吉富友美	B会員	梅田病院
14.4.11	後藤麻木	B会員	梅田病院
14.4.20	富恵 博	A会員	富恵外科
14.4.30	白石 元	B会員	光市立
14.4.30	中山尚登	B会員	光市立
14.4.30	福永真之介	B会員	光市立
14.4.30	長尾一公	B会員	光市立

## &lt;入会&gt;

H14.4.20	富恵 博	C会員	富恵外科
14.4.23	松岡康子	B会員	梅田病院
14.4.23	深野玲司	B会員	梅田病院
14.4.30	泉原昭文	B会員	光市立
14.4.30	河村英文	B会員	光市立
14.4.30	原田栄二郎	B会員	光市立
14.4.30	斉藤良明	B会員	光市立

## 新入会員のプロフィール

松岡康子(まつおか やすこ)先生

昭和48年6月28日生まれ

熊本県出身

福岡大学を平成11年卒業

診療科目 産婦人科

福岡大学病院、福岡赤十字病院、勤務



深野玲司（ふかの れいじ）先生

昭和50年10月26日生まれ

山口県防府市出身

川崎医科大学 平成12年卒業

診療科目 小児科

山口大学病院、徳山中央病院、勤務



泉原昭文（いずみはら あきふみ）先生

昭和36年11月3日生まれ

山口県吉敷郡小郡町出身

山口大学 平成元年卒業

診療科目 脳神経外科

山口大学、周東病院、国立下関、勤務



河村英文（かわむら ひでふみ）先生

昭和42年2月28日生まれ

山口県出身

山口大学 平成4年卒業

診療科目 泌尿器科

山口大学、小倉記念病院、厚南セントヒル病院、大和病院、松山西病院、勤務



原田栄二郎（はらだ えいじろう）先生

昭和50年11月19日生まれ

山口県出身

山口大学平成12年卒業

診療科目 外科

山口大学病院、勤務

斉藤良明（さいとう よしあき）先生

昭和43年9月7日生まれ

山口県出身

島根医科大学 平成7年卒業

診療科目 整形外科

山口大学、大和病院、鼓ヶ浦整肢枝学園

島根県立中央病院、美祢市立病院、勤務



## 第4回

(いのち)

## 「生命を見つめる」

## フォトコンテスト

日本医師会と読売新聞社では、生命の尊さ、大切さを考えてほしいとの願いを込め、「生命(いのち)を見つめる」フォトコンテストを開催しています。周囲の生きとし生けるものすべてが被写体です。レンズを通して「生命」を感じた作品を、ご応募ください。

## 作品募集

## 【審査委員】

田沼武雄(日本写真家協会会長)、椎名誠(作家)、  
ロザンナ(歌手)、織作輝子(写真家)ほか(敬称略)

## 【賞】

- 最優秀賞 1点：30万円
- 優 秀 賞 3点：10万円
- 入 選 5点：5万円
- 注 意 20点：図書券5千円分

## 【応募規定】

- 応募作品(プリント)は、本人が撮影したフィルムのもので、未発表作品に限ります。  
※デジタルカメラで撮影したもの、及びデジタルプリントも応募可能です。  
※賞品は応募時の加工品及び送料は自己負担です。
- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(または2L)とさせていただきます。
- 1人3点までに限りさせていただきます。
- 二重応募や類似作品の応募は禁じます。
- 月会費やプライバシーの侵害には十分ご注意ください。主催者では責任を負いかねます。
- 作品は返却いたしません。
- 入賞作品の著作権・使用権は1年間、主催者に帰属します。  
(ただし、データは1年間必ず削除し、その後は戻しません)
- 上記規定に違反した場合は、受賞を取り消します。

## 【締め切り】

平成14年11月21日(木)必着

## 【入賞者発表】

平成15年2月上旬の読売新聞紙上にて

## 【表彰式】

平成15年2月中旬、都内ホテルで

## 【入賞作品展】

日時：平成15年2月15日(土)～26日(水)

場所：東京・新宿タカシマヤ2階特設会場

## 【応募・問い合わせ先】

〒104-8325 中央区京橋2-9-2 第一ビル6F  
読売新聞東京本社 事業開発部「フォトコン」係  
(TEL03-5159-5886)

※応募作品の題名、タイトル、撮影年月日、住所、氏名、年齢(生年月日)、職業または学校名、電話番号を明記した封筒に入れてください。

主催：(社)日本医師会、読売新聞社

## ●●●●● あ と が き ●●●●●

会報委員会が発足しました。表紙も、高橋先生にお願いしました。光市医師会HPも、佃先生が創りました。そして、会報も3ヶ月に一度出すことになりました。

(文責 兼清)

発行所	光 市 医 師 会
	TEL (0833) 72 - 2234
発行者	前 田 昇 一
編集者	広 報 担 当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社